

住まいに関するアンケート調査結果

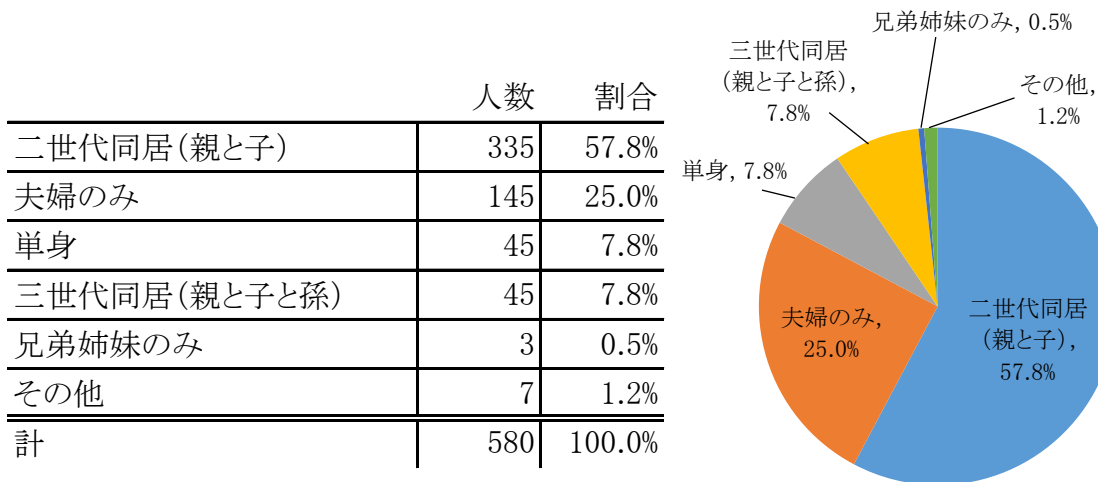
住宅課

1 調査目的

住まいに対する県民の皆さんの意識や現状を把握し、岐阜県住生活基本計画の見直しに係る住宅施策の基礎資料とするため、アンケート調査を実施しました。

2 調査結果

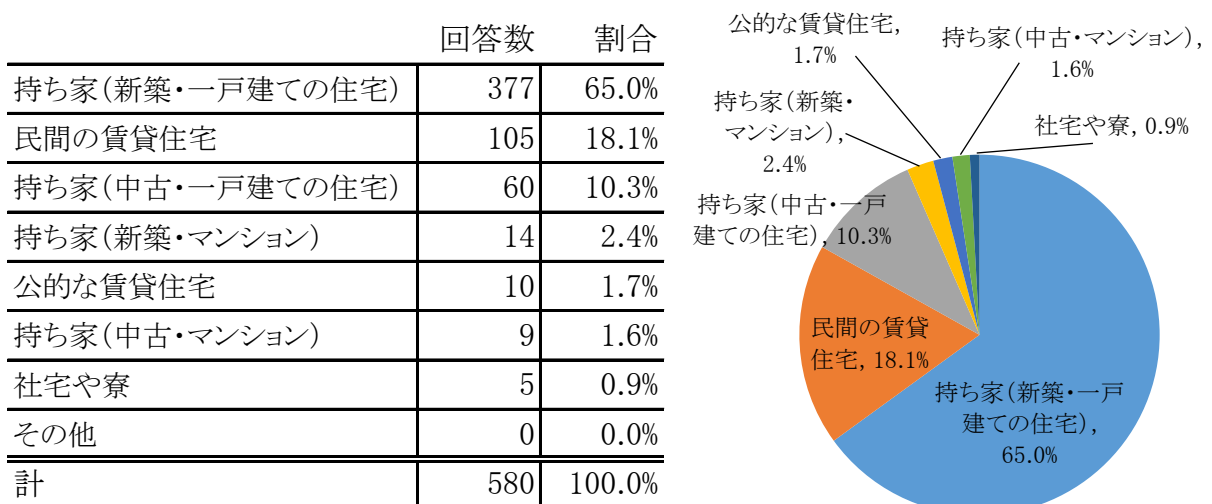
問1 あなたの世帯構成は、次のうちどれにあてはまりますか。



「その他」のうち主なもの

- ・ 孫と二人の暮らし
- ・ 四世代同居(祖母と親と子と孫)
- ・ 親と子と孫と親の姉妹

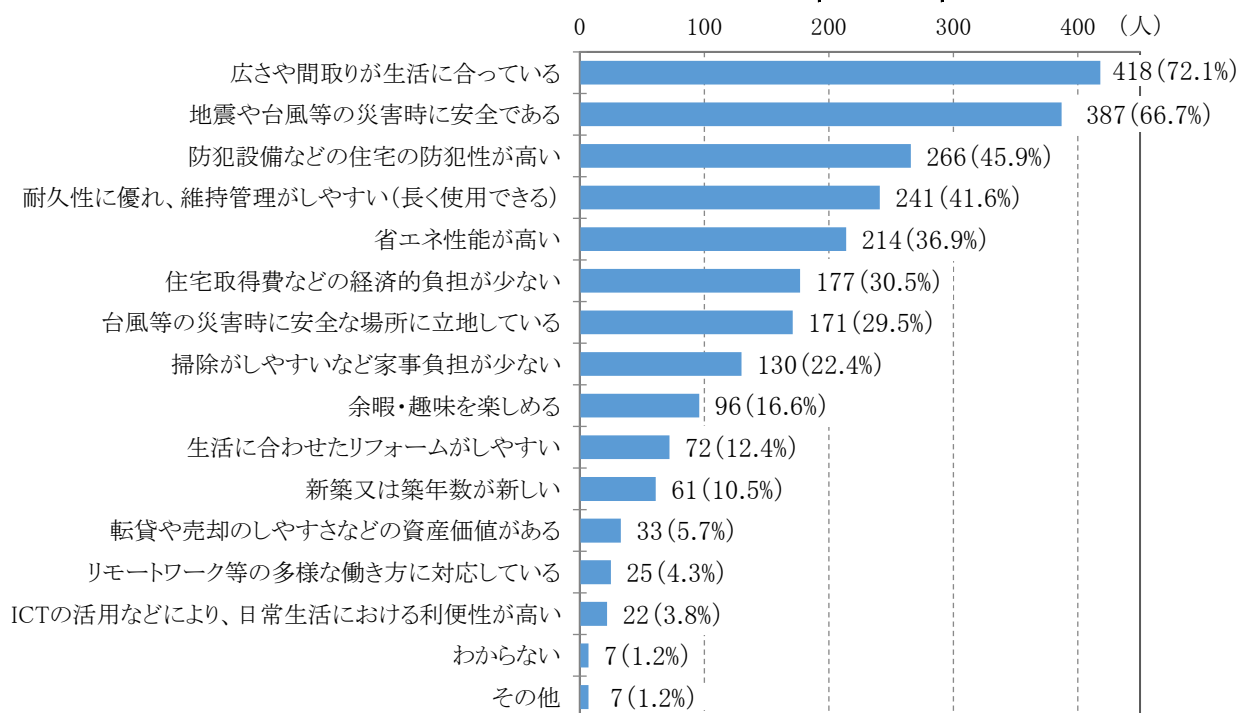
問2 あなたが現在お住まいの住宅は、次のうちどれにあてはまりますか。



問3 あなたが理想の住まいを実現するために、住宅について重要視するものは何ですか。次の中から5つまであげてください。

回答者 580 人

	回答数	割合
広さや間取りが生活に合っている	418	72.1%
地震や台風等の災害時に安全である	387	66.7%
防犯設備などの住宅の防犯性が高い	266	45.9%
耐久性に優れ、維持管理がしやすい(長く使用できる)	241	41.6%
省エネ性能が高い	214	36.9%
住宅取得費などの経済的負担が少ない	177	30.5%
台風等の災害時に安全な場所に立地している	171	29.5%
掃除がしやすいなど家事負担が少ない	130	22.4%
余暇・趣味を楽しめる	96	16.6%
生活に合わせたリフォームがしやすい	72	12.4%
新築又は築年数が新しい	61	10.5%
転貸や売却のしやすさなどの資産価値がある	33	5.7%
リモートワーク等の多様な働き方に対応している	25	4.3%
ICTの活用などにより、日常生活における利便性が高い	22	3.8%
わからない	7	1.2%
その他	7	1.2%
計	2327	—



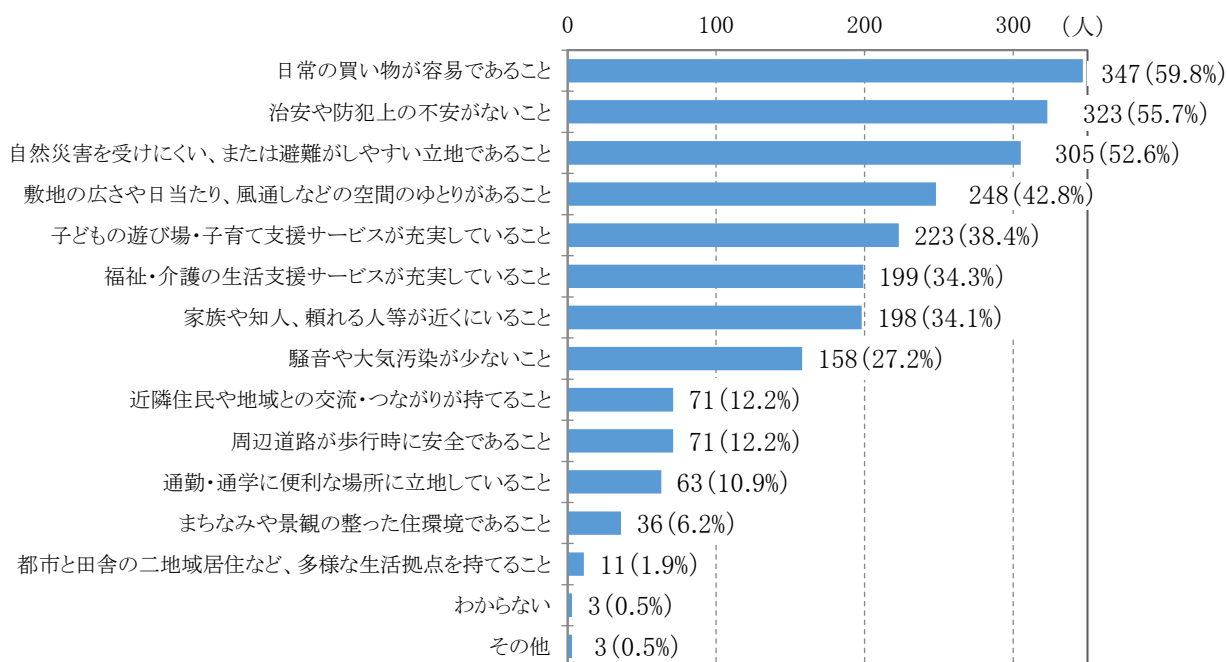
「その他」のうち主なもの

- ・ 収納が足りている
- ・ なるべく天然素材を使用し、環境負荷の少ない素材・工法で建てられる家であること。また、修復や改築をしながら長く住めること。
- ・ 安定した通信並びに適切な利用料のデジタル環境

問4 あなたが理想の住まいを実現するために、住まいをとりまく環境として重要視するものは何ですか。次の中から5つまであげてください。

回答者 580 人
回答数 割合

日常の買い物が容易であること	347	59.8%
治安や防犯上の不安がないこと	323	55.7%
自然災害を受けにくい、または避難がしやすい立地であること	305	52.6%
敷地の広さや日当たり、風通しなどの空間のゆとりがあること	248	42.8%
子どもの遊び場・子育て支援サービスが充実していること	223	38.4%
福祉・介護の生活支援サービスが充実していること	199	34.3%
家族や知人、頼れる人等が近くにいること	198	34.1%
騒音や大気汚染が少ないこと	158	27.2%
近隣住民や地域との交流・つながりが持てること	71	12.2%
周辺道路が歩行時に安全であること	71	12.2%
通勤・通学に便利な場所に立地していること	63	10.9%
まちなみや景観の整った住環境であること	36	6.2%
都市と田舎の二地域居住など、多様な生活拠点を持てること	11	1.9%
わからない	3	0.5%
その他	3	0.5%
計	2259	—

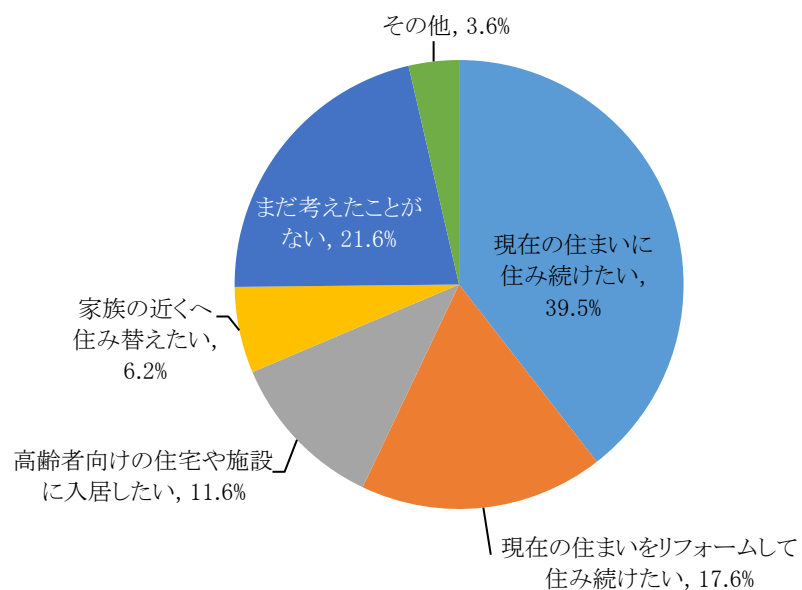


「その他」のうち主なもの

- ・ 通信環境において、未だ光回線インフラがケーブルTV事業者一社のみで、回線事業者の選択自由度がありません。これではクリエイティブな創業、起業しようとしているスタートアップ計画者にとって、最低必要条件として大きなマイナス要因となっています
- ・ 利用施設が近くにある
- ・ 鳥獣(特に熊など)による被害がないこと

問5 高齢になったときの住まいについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

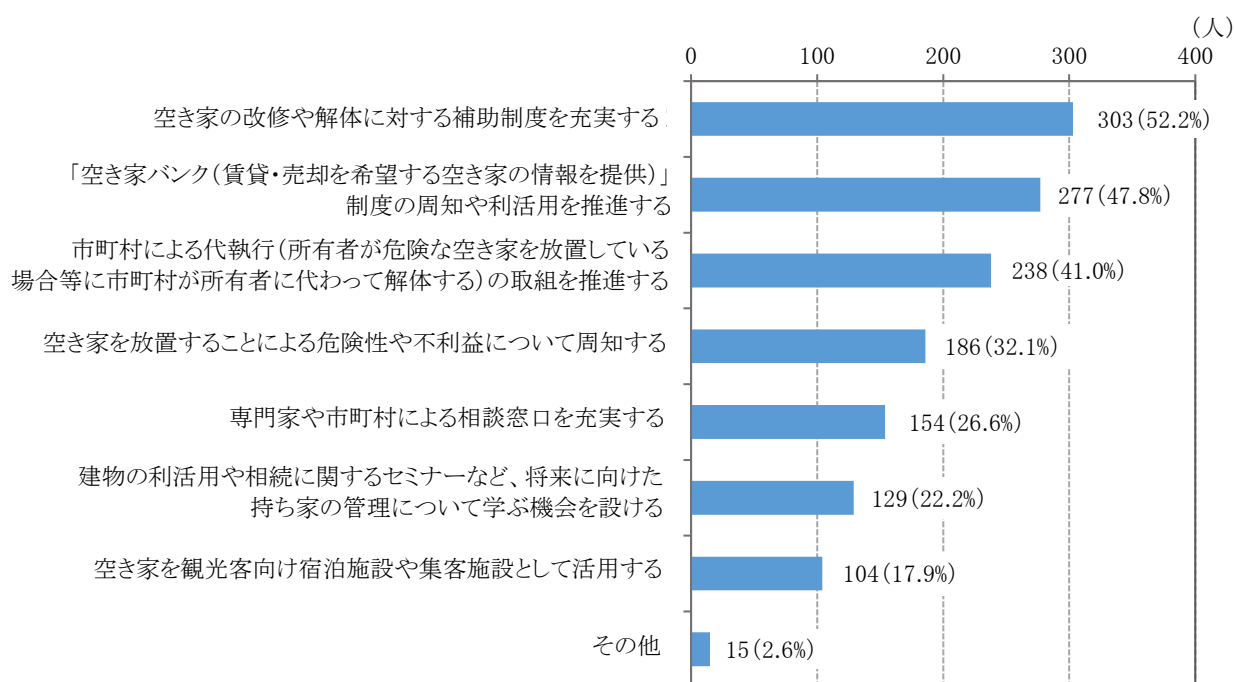
	人数	割合
現在の住まいに住み続けたい	229	39.5%
現在の住まいをリフォームして住み続けたい	102	17.6%
高齢者向けの住宅や施設に入居したい	67	11.6%
家族の近くへ住み替えたい	36	6.2%
まだ考えたことがない	125	21.6%
その他	21	3.6%
計	580	100.0%



問6 現在、老朽化して危険な状態の空き家や、不衛生で周囲の環境や景観を損なっている空き家など、空き家をめぐる問題が県内各地で発生しています。
 こうした空き家を減らしていくために、どのような取組が必要だと思いますか。
 次の中から取組を強化する必要があると思うものを3つまであげてください。

回答者 580 人

	回答数	割合
空き家の改修や解体に対する補助制度を充実する	303	52.2%
「空き家バンク(賃貸・売却を希望する空き家の情報を提供)」制度の周知や利活用を推進する	277	47.8%
市町村による代執行(所有者が危険な空き家を放置している場合等に市町村が所有者に代わって解体する)の取組を推進する	238	41.0%
空き家を放置することによる危険性や不利益について周知する	186	32.1%
専門家や市町村による相談窓口を充実する	154	26.6%
建物の利活用や相続に関するセミナーなど、将来に向けた持ち家の管理について学ぶ機会を設ける	129	22.2%
空き家を観光客向け宿泊施設や集客施設として活用する	104	17.9%
その他	15	2.6%
計	1406	-



「その他」のうち主なもの

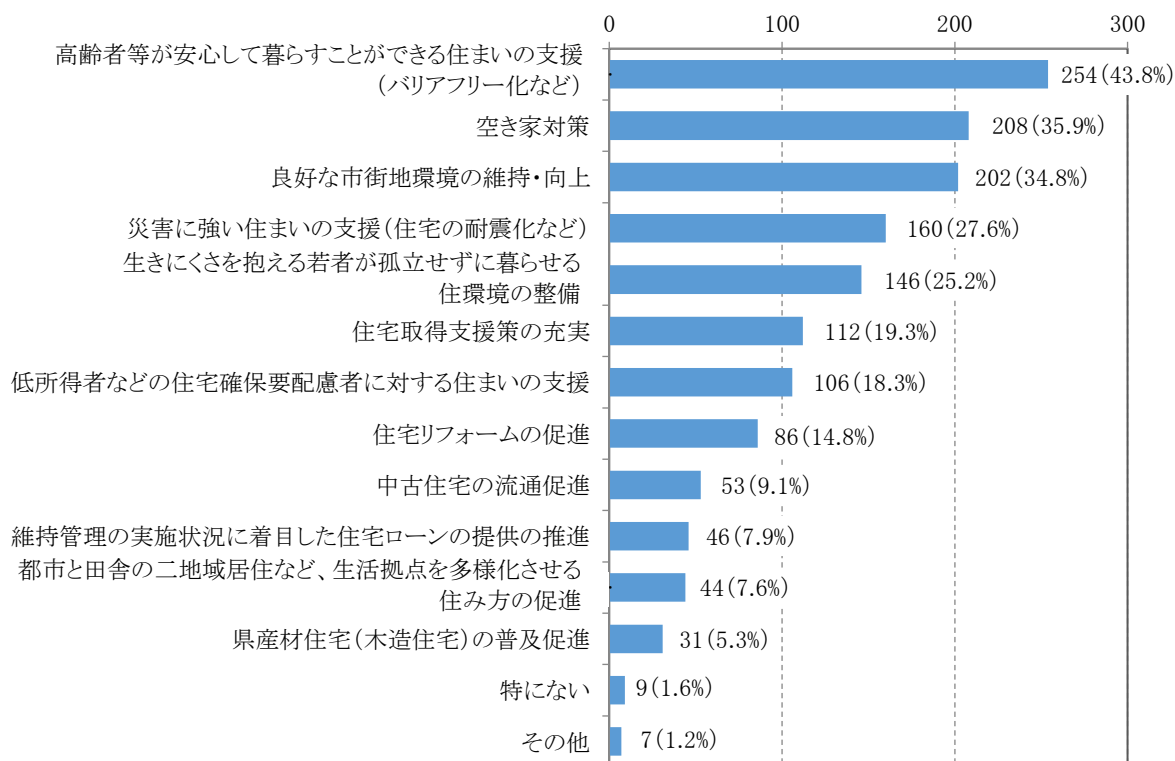
- ・ 建物を解体した更地にした方が税金が高くなることを改善するべきだと思う。
- ・ 行政が関与した建物の解体売却支援及び納税額の考慮。
- ・ 老朽化して危険な状態の空き家や、不衛生で周囲の環境や景観を損なっている空き家を放置している持ち主を処罰する条例を作って厳しく取り締まる
- ・ 空き家を放置している人は家財道具などもそのままの人が非常に多いので空き家バンクは難しいのでは無いか。

問7 県が住宅施策を進めるうえで、あなたが特に力を入れてもらいたいと思う

ことは何ですか。次の中から3つまであげてください。

回答者 580 人

	回答数	割合
高齢者等が安心して暮らすことができる住まいの支援 (バリアフリー化など)	254	43.8%
空き家対策	208	35.9%
良好な市街地環境の維持・向上	202	34.8%
災害に強い住まいの支援(住宅の耐震化など)	160	27.6%
生きにくさを抱える若者が孤立せずに暮らせる住環境の 整備	146	25.2%
住宅取得支援策の充実	112	19.3%
低所得者などの住宅確保要配慮者に対する住まいの支援	106	18.3%
住宅リフォームの促進	86	14.8%
中古住宅の流通促進	53	9.1%
維持管理の実施状況に着目した住宅ローンの提供の推進	46	7.9%
都市と田舎の二地域居住など、生活拠点を多様化させる 住み方の促進	44	7.6%
県産材住宅(木造住宅)の普及促進	31	5.3%
特にない	9	1.6%
その他	7	1.2%
計	1464	-



「その他」のうち主なもの

- ・子育て世帯に対する継続的な住宅手当の創設。未来を担う子どもたちに良い生活環境を提供することで、地元への愛着を育み将来の地元活性化に繋げる。
- ・家の寿命を延ばすための外壁塗装の補助金の充実

問8 その他、県の住宅に関する施策に対して、ご意見などがございましたらお聞かせください。

<空き家等について>

- ・ 空き家になった家についてはいずれ考えなくてはならない問題で他人事ではないと思う。解体費の補助や、解体・売却までの固定資産税の減額免除制度を作って欲しい。
- ・ 老朽化した空き家は、倒壊の危険や景観の悪化につながるため、所有者への適切な管理の働きかけや、解体を支援する施策を進めてほしいです。働きかけに応じないならば、所有者が代替わりなどで不明になる前に迅速に代執行をした方がいいと考えます。
- ・ 屋根が落ちかけている空き家が長年放置されているのは大変危険です。「ボロボロの管理されていない空き家」になる前に、中古住宅として活用される仕組みが出来るようにお願いします。

<住宅取得・リフォーム支援について>

- ・ 住宅の購入にかかる補助制度の充実とそれに伴う周知の徹底をしてもらえるとよいです。
- ・ 子育て世帯の住宅ローンに関して支援があるとありがたい。岐阜に移住する人が増え、少子化対策になると思う。
- ・ 家を建てようにも物価高が激しい。もう少し補助があると、移住者も増えるのでは。

<高齢者・子育て・福祉世帯等への支援について>

- ・ 高齢者が住みやすい快適な住まい造りについて、地域での座談会やお話しの場を通じて、共に学ぶ勉強会等を実施する。
- ・ 岐阜県は敷地が広く同居率(敷地内同居含む)が高い地域なので、2世帯同居リフォーム費用や離れ建設費用を補助すればあらゆる社会問題解決になるように感じる。
- ・ ひとり親世帯が家賃面、治安面などで安心して入居しやすい公営住宅を作してほしい。
- ・ 高齢者や低所得者、単身者などが借りられる賃貸物件を空き家を利用して作り、その運営システムを構築させる。

<安全・安心な居住環境について>

- ・ 家の価格が相当上がっているので、リフォームなどの需要が増えるのでは無いか。ただ、災害に備えて耐震性や、断熱性能のずば抜けて高い住宅に補助がもっと出ると良い。自宅避難ができるような家だと良い。
- ・ 高齢化が進む中で、バリアフリー改修や高齢者向け住宅の整備、空き家の有効活用をさらに推進していただきたいです。さらに、地震や豪雨などの自然災害に備え、住宅の耐震化や防災対策への支援を継続していただくとともに、省エネルギー住宅や環境に配慮した住宅整備の普及にも期待しています。
- ・ 耐震化への補助範囲を広くし、安心して過ごせる家になるように。

<制度周知・相談体制について>

- ・ 県の住宅に関する施策が、よくわからない。
- ・ その土地にあった活用方法や、場合によっては空き家バンクなどについて、気軽に相談できる窓口があると助かるかと思います。いつかは親世代の住居を処分する時が来るので、そうした窓口があればぜひ相談したいです。
- ・ 施策を知らないため、情報提供を求めます。世代間で求める支援、施策は違うため、メールやマイナポータルなど、オンラインで各世代の需要があると思われる情報提供を進めることが大切だと思う。